

## 就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	一般社団法人 無邪気 就労継続支援A型 ポラリス
住 所	栃木県大田原市黒羽向町1555
電話番号	0287-53-7900

事業所番号	911000412
管理者名	星 豪紀
対象年度	令和2年度・令和3年度

## 地域連携活動の概要

## &lt;活動内容&gt;

栃木県大田原市北金丸地内  
令和2年9月 ～ 令和3年1月、4月～5月  
収穫後のねぎ調整作業  
1日あたりの利用者従事数 2～5名

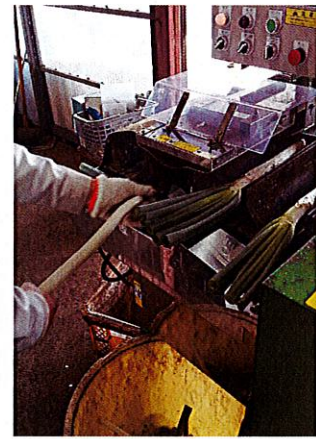
## &lt;目的&gt;

担い手不足のねぎ調整作業への参加  
障害の理解を深めるとともに、調整の担い手となることで生産性向上を図る  
利用者の調整技術向上

## &lt;成果&gt;

収穫後の葉落とし、機械皮むき、選別、箱詰めの手順を理解し、一連の流れを行えるようになった。  
2～3名程度の最小人数での作業が続くことが多く、作業従事者数が安定しなかった。

## &lt;活動の様子&gt;



## 連携先の企業等の意見または評価

一人での作業では大変なため、助かっています。ねぎ調整作業を行ってもらい、無事に終了することができました。利用者の皆さんは挨拶ができ、真面目に作業されています。  
精神的に不安定な方が多いため、思っていた人数が作業に来られないことがあり、作業しきれないことがありました。もう少し長い時間作業を行うことや、祝日等ローテーションで行うことを検討していただけると生産数があがるのではないかと思います。

連携先企業名	ねぎ農家	担当者名	古内
--------	------	------	----



## 就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	一般社団法人 無邪気 就労継続支援A型 ポラリス
住 所	栃木県大田原市黒羽向町1555
電話番号	0287-53-7900

事業所番号	911000412
管理者名	星 豪紀
対象年度	令和2年度・令和3年度

## 地域連携活動の概要

## &lt;活動内容&gt;

栃木県大田原市小滝地内  
令和2年9月 ～ 令和3年5月  
収穫後のねぎ調整作業  
1日あたりの利用者従事数 4～7名

## &lt;目的&gt;

担い手不足のねぎ調整作業への参加  
障害の理解を深めるとともに、調整作業の担い手となることで生産性向上を図る。

## &lt;成果&gt;

収穫後の葉落とし、機械皮むき、選別、箱詰めの手順を理解し、一連の流れを行えるようになった。  
2班体制での作業を取り入れ、生産性があがるように進めたが、利用者の体調の変化により、作業従事人数の増減があった。

## &lt;活動の様子&gt;



## 連携先の企業等の意見または評価

利用者の方が4名だと箱数が伸びないことがありました。  
従事される利用者の方が5～6名いると、安定した箱数を生産できると思います。  
規格の変更等を伝えると、しっかりと変更してくれました。  
今後、2交代制の導入や6時間ほど稼働できると助かります。  
生産数があがってきているため、今後も1日の目標数(最高で100箱)にむけて取り組んでいって下さい。

連携先企業名	ねぎ農家	担当者名	ご本人の希望により非公表
--------	------	------	--------------



## 就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	一般社団法人 無邪気 ポラリス
住 所	栃木県大田原市黒羽向町1555
電話番号	0287-53-7900

事業所番号	911000412
管理者名	星 豪紀
対象年度	令和3年度

## 地域連携活動の概要

## &lt;活動内容&gt;

栃木県大田原市中田原地内  
 令和3年6月 ～ 令和3年11月  
 工場内の除草補助  
 1日あたりの利用者従事数 2～3名 職員1名

## &lt;活動の様子&gt;



## &lt;目的&gt;

農福連携を行いながら、作業の担い手を目指す。  
 作業を通して、障害の理解を深めるとともに生産性の向上を図る。



## &lt;成果&gt;

7月～10月までの間で週2～3日実施。  
 刈払後の草集めやスギナ等の除草を行えた。  
 暑い中での作業だったため体調を崩す利用者もいた。  
 夏場の作業では、熱中症対策を続けていく。

## 連携先の企業等の意見または評価

工場内の緑地管理の一部を作業依頼致しました。  
 当初は慣れない作業に戸惑いがありましたが、少しずつ作業効率も良くなりました。  
 夏期炎天下の作業は本当に大変そうでしたが、前向きに取り組んでいただきありがとうございました。

今後の課題としてクライアントの要望を理解し達成するには、自分がどうアプローチするかを考え行動して下さい。

連携先企業名	大田原市森林組合	担当者名	和地
--------	----------	------	----